

データでつなぐ“みち・まち・ひと” ーJapan Mobility Data Spaceが拓く スマートモビリティ2.0の未来ー

2025年10月29日

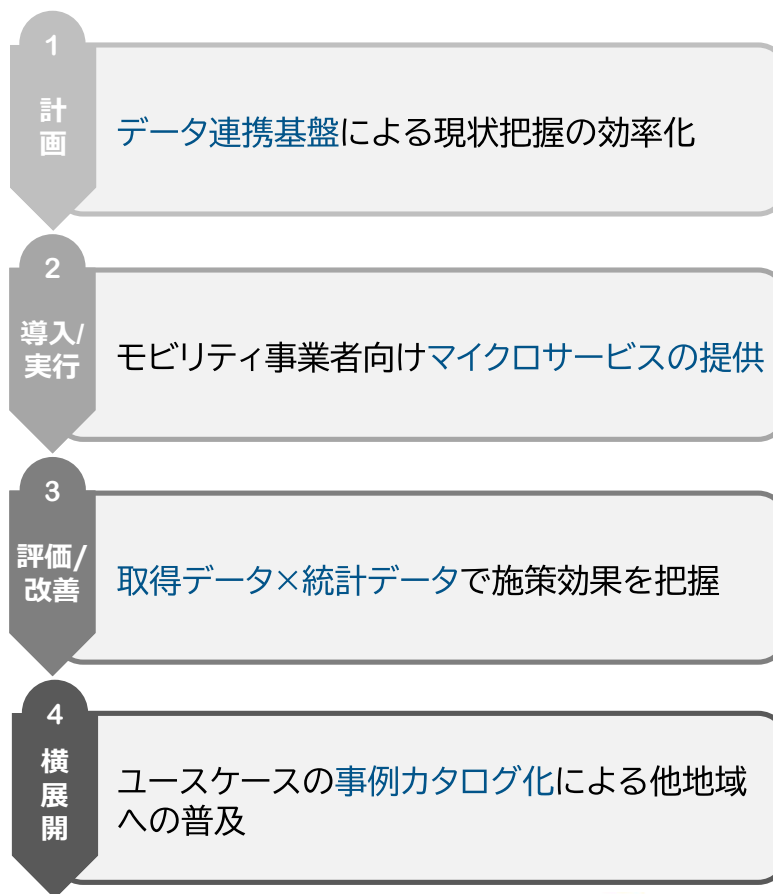
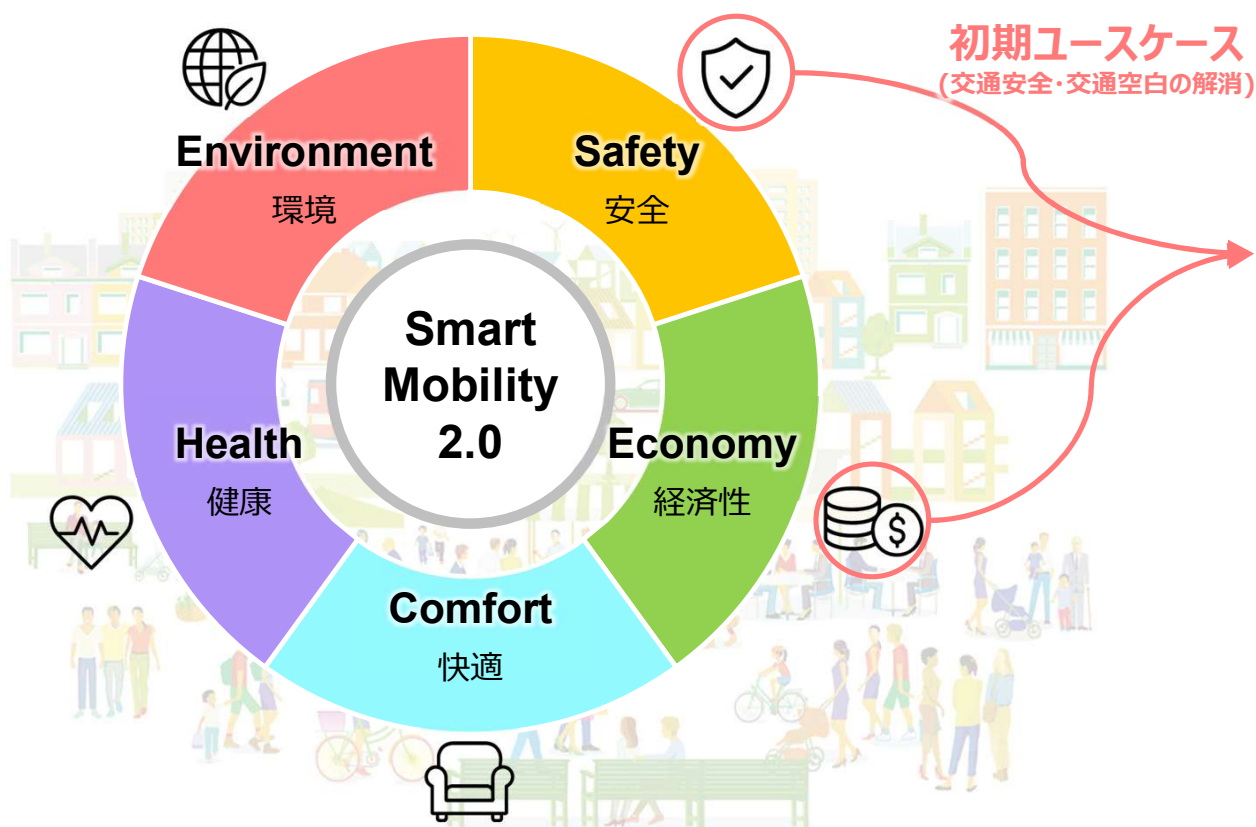
株式会社NTTデータ

社会基盤ソリューション事業本部 社会DX&コンサルティング事業部



NTTデータが目指す姿

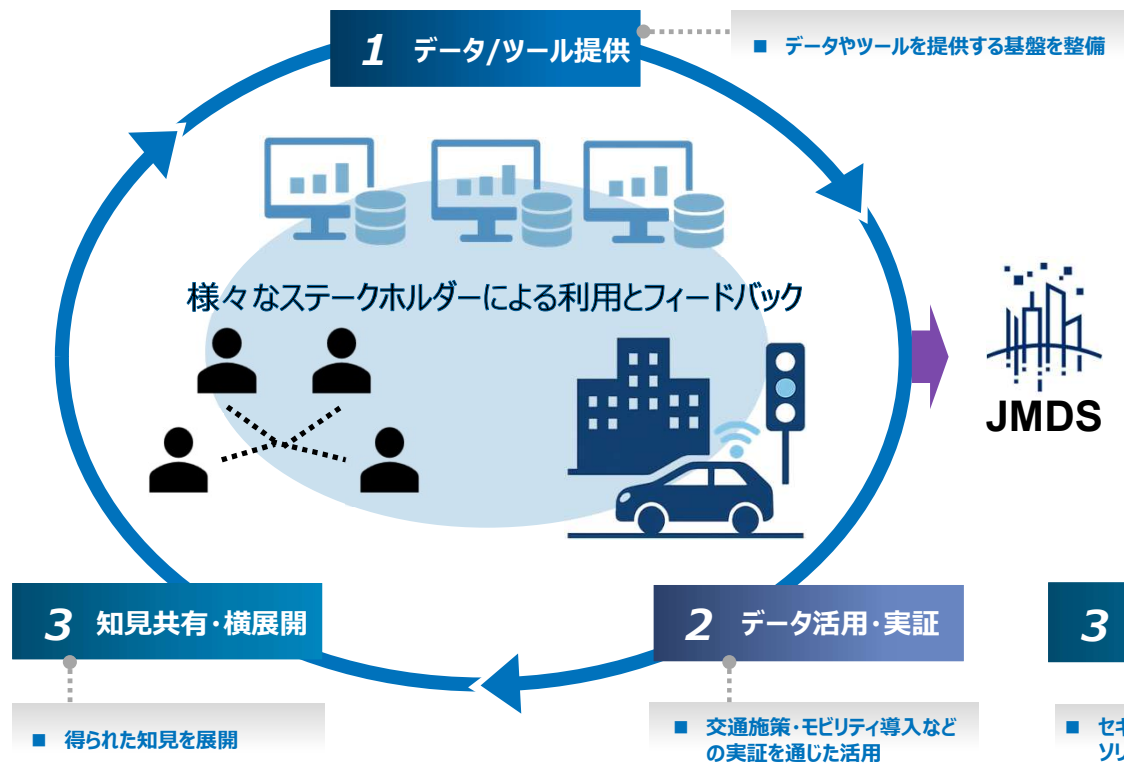
- NTTデータは、事故がゼロの世界・交通空白が解消される安心安全に移動できる世界を目指しており、強みであるデータ利活用ノウハウを活かし、モビリティ分野全体の下支えとなるようなデータプラットフォームを提供することで、Well-beingなモビリティ社会（Smart Mobility 2.0）を実現したいと考えております。



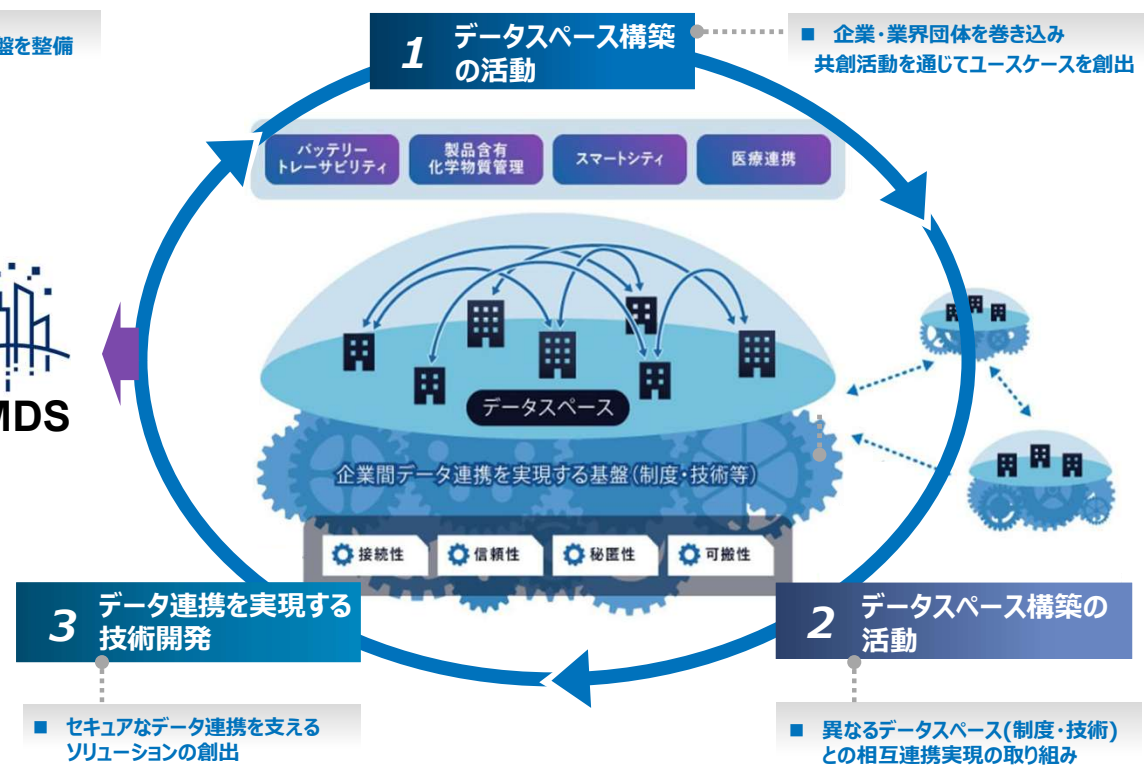
NTTデータの取り組み

- 目指す姿の実現には、従来のデータプラットフォームの整備にとどまらず、社会実装に向けて多様なステークホルダーや他分野のデータスペースと連携し、価値を共に創り出すプロセスが重要と考えております。
- SIPに参画する多様なステークホルダーやユースケースと協働してJapan Mobility Data Space（以下、JMDS）を構築し、持続的なモビリティ社会の実現を目指しています。

ステークホルダーとのデータ連携



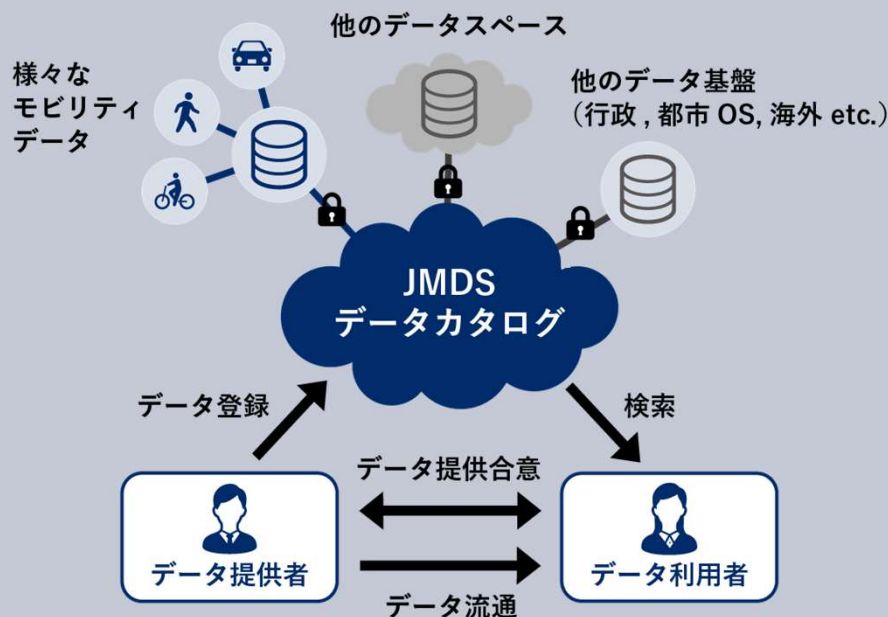
データスペースの連携



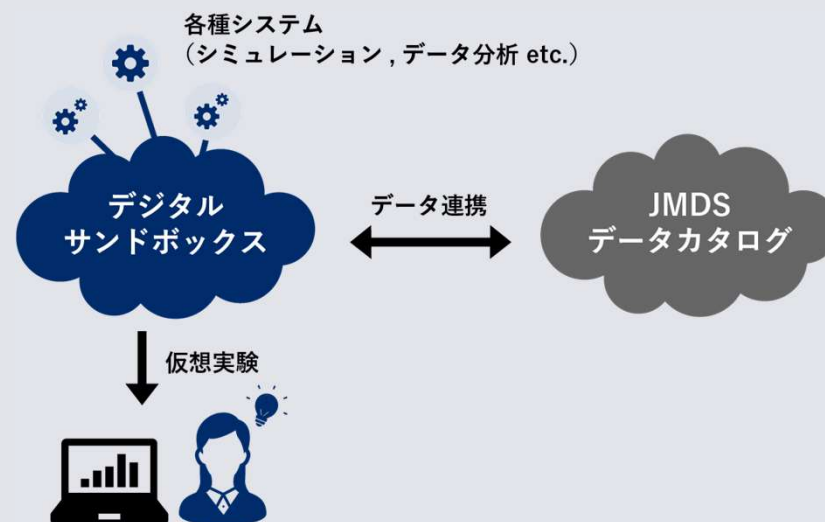
JMDS データ連携基盤とデジタルサンドボックス

- **データ連携基盤**は、分散したモビリティ関連データを連携・活用するため、**一元的なデータの取得を可能**とします。
- **デジタルサンドボックス**(データ活用ツール群)はJMDSから取得したデータを活用し、**データ加工/データクレンジングや可視化/分析などを行える環境を提供**します。





JMDS — データ連携基盤



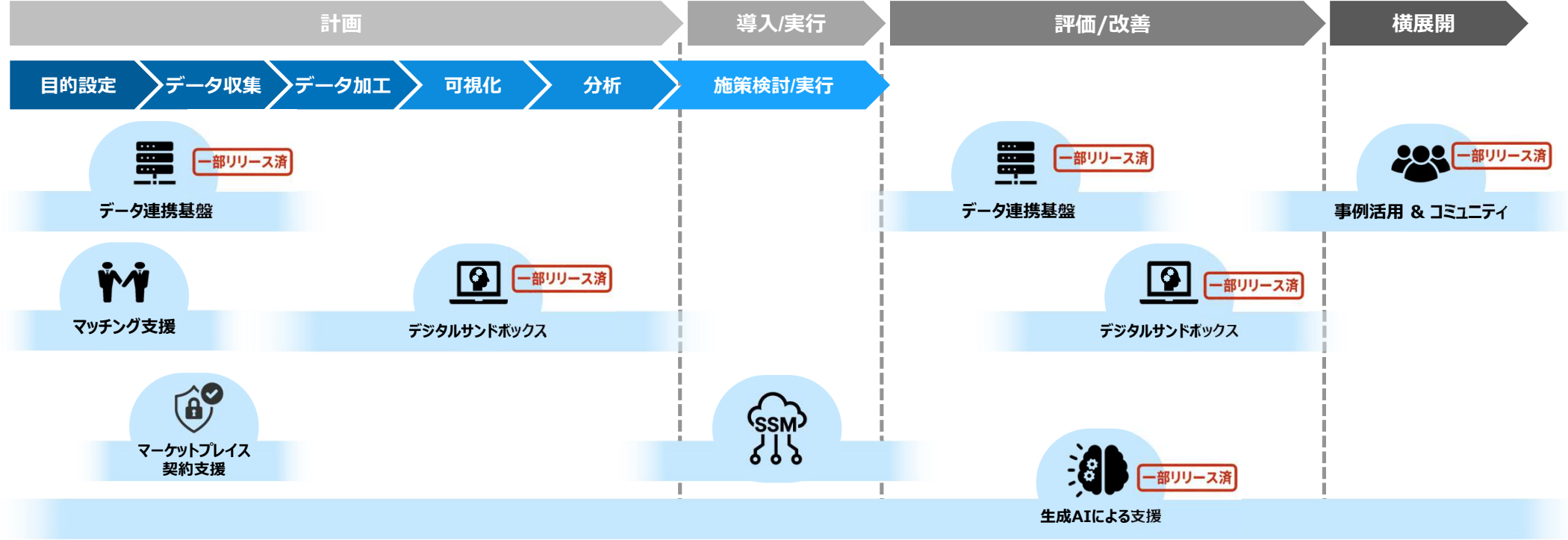
デジタルサンドボックス (DSB) — データ活用ツール群



JMDS 提供予定サービスの全体像

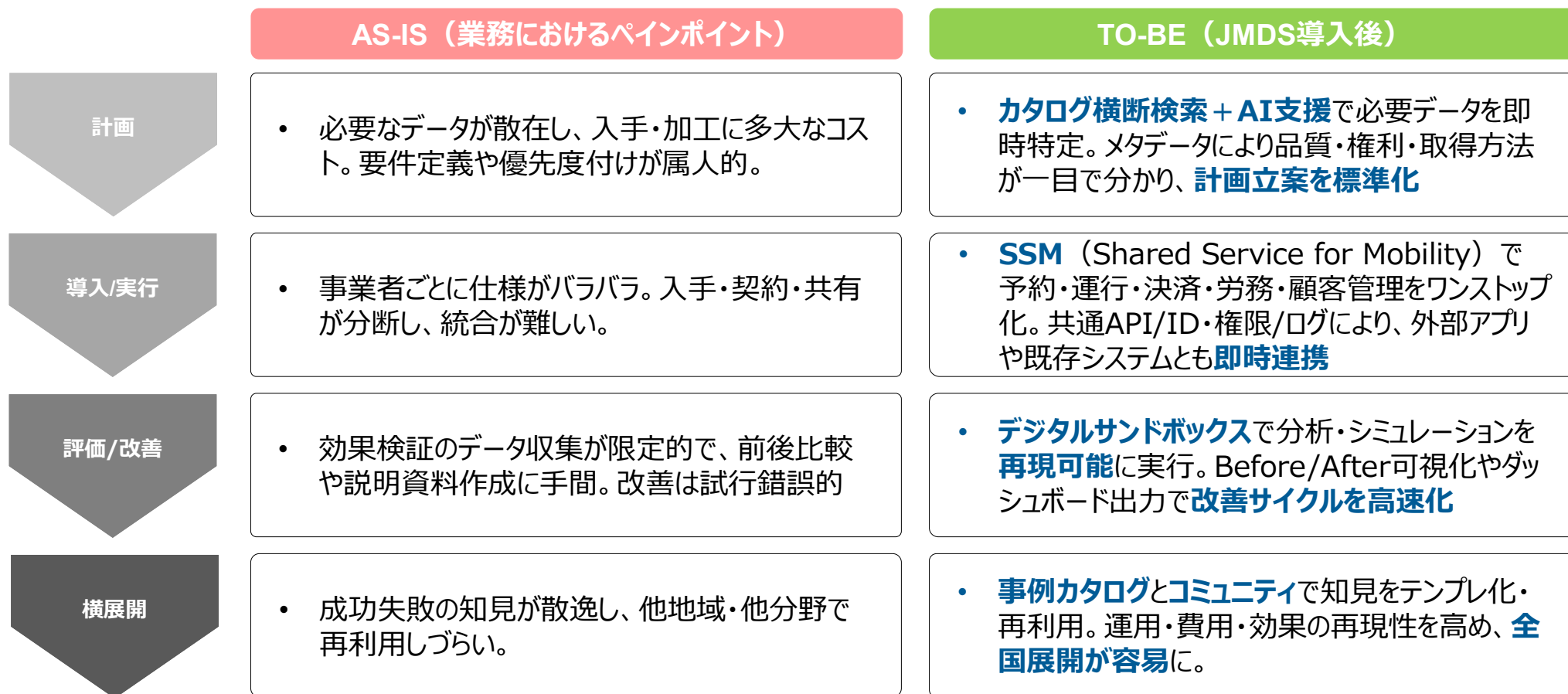
- 計画、導入/実行、評価/改善、横展開 等、施策のフェーズ毎にJMDSが隙間なくサービスを提供することにより、利用者は効率的で効果的な施策の実行を可能とします。
- その他提供サービス
 -  **マーケットプレイス 契約支援**
セキュアで安全なデータ取引ができるよう、契約機能も提供
 -  **マッチング支援**
自社リソースだけでは困難な施策に対しマッチングを支援し、新たなビジネスチャンスを提供
 -  **SSM (Shared Service for Mobility)**
決済機能/運行管理/予約管理/労務管理がワンストップで行えるモビリティサービス
 -  **事例活用 & コミュニティ**
他自治体/企業の成功事例や失敗事例を元に**施策の横展開**と継続的改善につなげる

● 施策フロー上での提供予定サービス



JMDSの提供価値

■ 分散するデータ・ツール・知見をつなぎ、計画から横展開までの工程を標準化・高速化します。



* SSM = モビリティ運用の共通業務サービス群（予約・運行・決済・労務・顧客/通知等）。カタログ/サンドボックスとAPIで連携。

JMDS利用による業務効率化・質の向上

- JMDSを導入することで、時間のかかる分析作業の負荷を軽減し、導入/実行や評価/改善等本質的な作業に注力できる状況に繋がります。

1 現状分析プロセスの工数削減

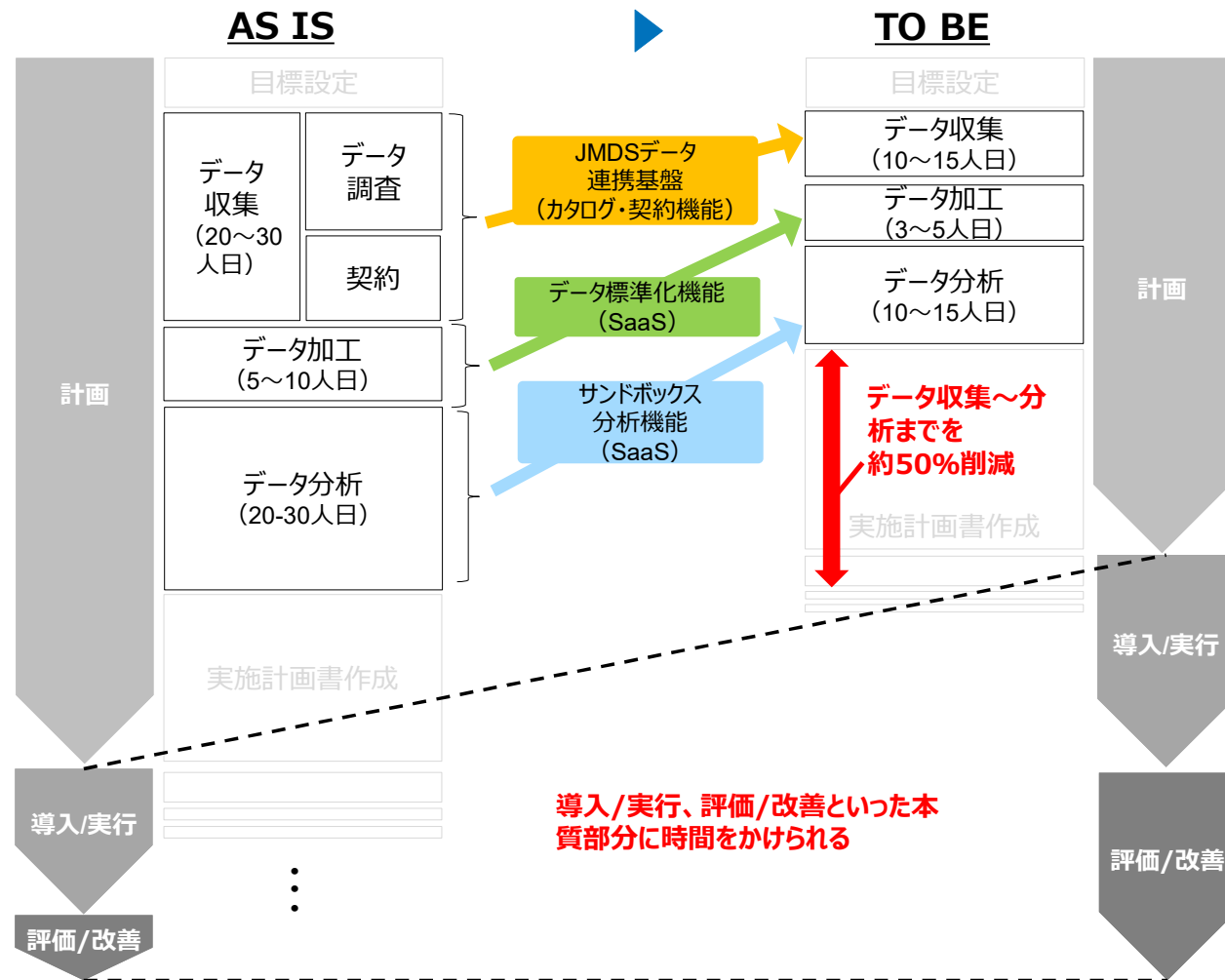
データ収集～分析までを一気通貫して提供することで、**分析業務を約半分以下の工数に効率化**できると想定

2 導入・実行/評価・改善プロセスの質向上

本質部分である施策実行や評価・改善プロセスに時間をかけられるようになることで、**より付加価値の高い施策**へと繋げることができます

3 高度な分析環境の実現

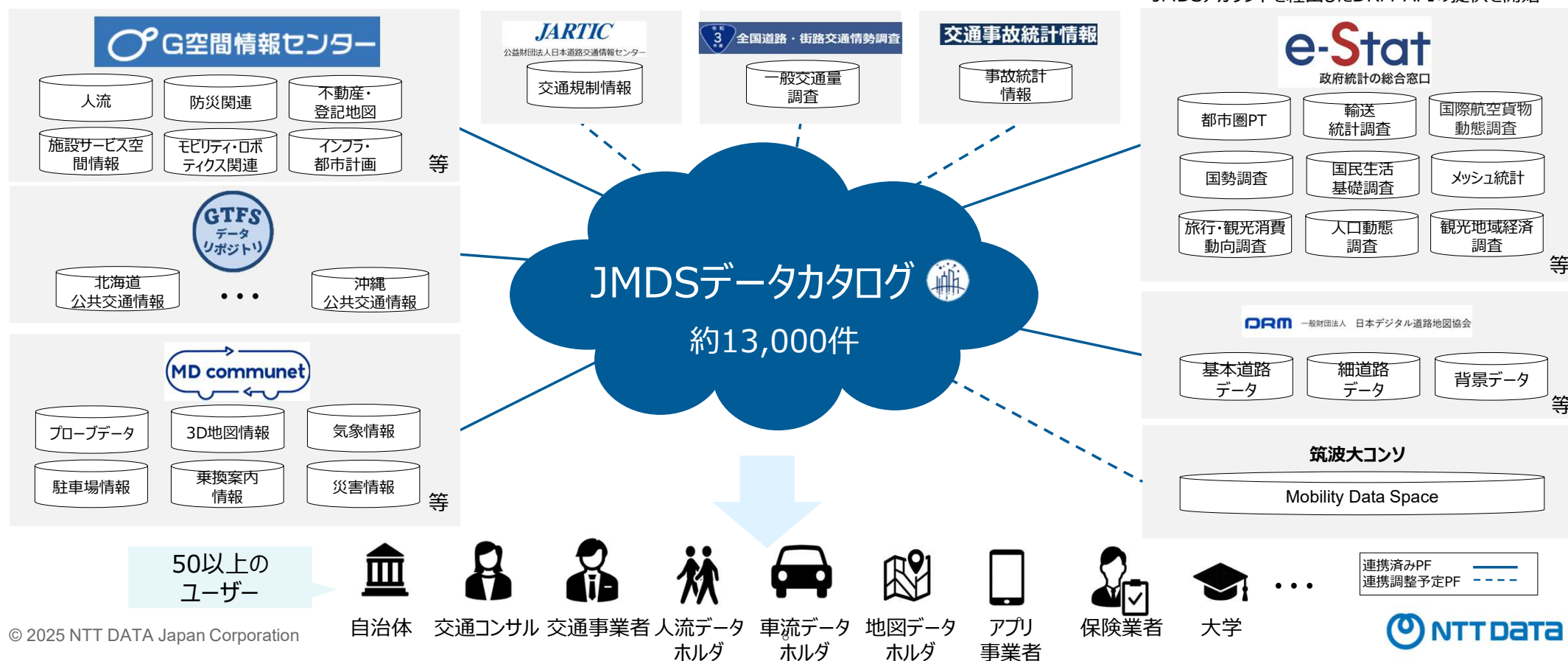
大学・研究機関や建設コンサルタント等のツールを利用することで、**より専門性の高い分析が可能**となります



取り組みの進捗状況

- 直近はJMDSに搭載される予定のツールで必要なデータやオープンデータを中心にデータ連携を進めており、次年度以降は有償データとの連携も行う予定です。
- 2025年10月時点で50以上の企業・団体がJMDSのアカウントを発行・ご利用いただいております。今後も拡大を行っていきます。

オープンデータのダウンロードAPI機能や
JMDSアカウントを経由したDRM-APIの提供を開始



JMDSの活用ユースケース例

- 前述のサービスを地域交通や交通安全などのユースケースに活用させることで、自治体様、交通事業者様、コンサルタント各社様等、様々な方々のご連携しながら、地域が抱える多様な課題解決に貢献していく所存です。

1

地域交通

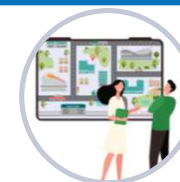
地域一体型の仕組みにより、バスや鉄道などの地域交通の維持・運用を支援するとともに、交通空白地などにはオンデマンド交通などの代替手段を検討。**地域の特
性や課題に応じた持続可能なモビリティの構築**を目指す。



2

交通安全

車両の移動データや交通シミュレーションなどを活用し、道路管理者による危険箇所
の特定や細街路の整備計画を後押しする。加えて、景観や快適性にも配慮した
道路の再設計を通じ、**交通安全と地域価値の向上を両立**させる。



JMDS利用ご協力をお願い

- JMDSは、自治体様、交通事業者様、コンサルタント各社様など、地域交通や交通安全をはじめとし、様々なモビリティに関連する方々からのご意見を糧に、より多くの方にお役立てできるサービスへ改善する取り組みが重要と考えています。
- つきましては、忌憚のないご意見を賜りたく、ぜひご登録のうえ、ご協力いただけますと幸いです。

JMDS HP



- ✓ JMDSの利用にはアカウント登録が必要となります。利用を希望する際には、Japan Mobility Data Space運営事務局（japanmobilitydataspace@am.nttdata.co.jp）までご連絡ください。